

## ゲムシタビン含有レジメンによる治療を受けられた患者さんへ

### 1. 研究課題

リンパ腫に対するゲムシタビン含有レジメンの後方視的研究

### 2. 対象となる患者さん

2013年1月～2025年12月まで当院でゲムシタビン含有レジメン（GDP療法、GCD療法など）による治療を受けられたリンパ腫の患者さん

### 3. 研究期間

2026年3月31日から2028年3月31日まで

### 4. 研究の目的

再発難治性リンパ腫に対して行われるゲムシタビン含有レジメン（ゲムシタビンと他の抗がん剤を組み合わせた治療）の当院における治療成績（有効性）や安全性（副作用の頻度など）を調査します。この治療法は国内外で広く行われていますが、当院での実態を詳細に解析することで、今後の患者さんにとってより適切な治療選択を行い、治療成績を向上させることを目指しています。

### 5. 研究の方法

電子カルテに記録されている患者さんの診療情報を集めて解析します。研究のために患者さんに新たに検査を実施したり、受診をしていただくことはありません。

○利用する情報：診断名、年齢、性別、身体所見、既往歴、併存疾患、検査結果（血液検査、骨髄検査、画像所見など）、治療内容（使用した薬剤、投与量、治療期間）、治療効果（奏効割合）、副作用の有無と程度、転帰（生存期間、再発の有無）など

### 6. 情報の管理

収集したデータは、島根大学医学部血液内科講座内の外部から容易にアクセスできないPCに保管します。

### 7. 個人情報の取り扱い

研究に関わる情報は個人が特定できない形式により管理します。

研究に関するデータ及び関連資料は、研究結果の最終報告を行ってから10年間は保管し、

その後保管の必要性がなくなった時点で研究対象者の識別が不可能な状態で廃棄します。

## 8. 研究組織

島根大学医学部附属病院 血液内科

## 9. お問い合わせ先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身またはご家族の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問がある方は下記の連絡先までご連絡ください。ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人からお申し出をいただければ利用停止をすることができます。なお、利用停止のお申し出は2026年12月までをお願いします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

研究責任者：島根大学医学部附属病院 血液内科 高橋 勉

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話：0853-20-2308